

A-124 女性の塩味覚と月経周期
活水短大家政 ○古場久代 重松恵子

目的 一般的に女性の味嗜好が、塩味覚を中心として変化するのではないか、という示唆があったので、女子学生について、塩味覚がどう変動するか、その実態調査を行った。

方法 1)標準食塩濃度清汁, 2)各種食塩濃度清汁に対して, 7段階の評定尺度による官能テストを行った。

結果 1)の調査で、男性の場合は個々の味覚がかなり安定しているのに対し、女性の場合は、その味覚に一定の周期性が認められた。そこで、2)の結果を、月経周期に対応させて統計処理を行ったところ、月経周期の前半期と後半期における嗜好塩濃度に、統計的な有意差が認められた。女性は、月経周期の前半期に比較的うすい塩濃度の清汁を好み、後半期では、前半期のものより濃い塩濃度のものを好むと思われる。